

巨匠ヴィム・ヴェンダース最新作！

盟友ペーター・ハントケの戯曲を映画化

『アランフェスの麗しき日々』

【公開決定のお知らせ】

平素よりお世話になっております。

ヴィム・ヴェンダースの最新作であり、『ベルリン・天使の詩』以来となる盟友ペーター・ハントケとの5本目のコラボレーション作品が、12月より全国順次公開することが決定致しました。

是非ともニュースとしてご紹介いただけますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

本作は、2016年ヴェネチア国際映画祭正式出品作品で、ヴィム・ヴェンダースが永年の友人であるペーター・ハントケの戯曲を映画化した作品です。

原作の副題は「夏の対話」とされており、柔らかな風が吹く美しい夏の日に、広々とした平原の遠くにはパリのシルエットが見える木陰のテラスというシュチュエーションで、全編にわたり、女と男が織りなす会話劇で構成されています。

性的体験、子供時代、記憶、夏の本質、そして男と女の違いについて、女性的な視点と男性的な認識について。交わされる対話の魅力は、決闘あるいはQ&Aゲームとも言えるほど印象的です。

『3枚のアメリカのLP』（1969）、『ゴールキーパーの不安』（1971）、『まわり道』（1975）、そして『ベルリン・天使の詩』（1987）に続く、ペーター・ハントケとヴィム・ヴェンダースの5本目のコラボレーション作品であり、ヴェンダース最新作にして初のフランス語作品でもあります。

100%思いのままに撮った生涯で初めての映画だ
—監督ヴィム・ヴェンダース

監督・脚本：ヴィム・ヴェンダース

キャスト：レダ・カテヴ、ソフィー・セミン、イェンス・ハルツ、ニック・ケイヴ

原題：Les BEAUX JOURS d'ARANJUEZ

原作：ペーター・ハントケ『アランフェスの麗しき日々 夏のダイアローグ』（論創社）

製作年：2016年／製作国：フランス、ドイツ、ポルトガル／言語：フランス語、ドイツ語、英語

画面比率：1.85:1／時間：97分／DCP

字幕翻訳：松岡葉子

配給：オンリー・ハーツ 配給協力：トリプルアップ

<お問い合わせ> 【宣伝】 佐々木瑠都 Tel : 090-7405-6715
【配給】 オンリー・ハーツ Tel : 03-3234-5105



12月より、YEBISU GARDEN CINEMA ほか全国順次公開！